

# なかまと暮らす

## お泊り保育 (2泊3日)

1日目 電車に乗って動物園へ

名古屋駅、人、人、人  
しぜんとなかまと手をつないだ  
しぜんと一塊で動いた  
しぜんと歩くスピードが速まった



2日目 朝明茶屋から根の平峠へ



日の出  
朝日の輝き  
今日も楽しい  
一日に  
なります  
ように！  
みんなで歩く  
ゆっくりな子は前へ、強い子は後ろへ



根の平峠から  
昨日行った  
名古屋が  
見える

愛知川(えちがわ)にて  
小さなチャレンジヤーたち  
なんとかして  
対岸へ行こうと  
なんとかして



おしゃべり夢中で  
乗らなくていい石に  
乗って転ぶ  
ちょっと泣きもした  
みんながお互いにちゃんと  
歩けるようにしようよ  
しっかりと足元を見ながら



夜は、  
布団敷き  
舞い上がって  
いた布団



子どもたちだけでやり遂げた

3日目 雪だー

まだ薄暗い夜明け 予定変更 砂防公園へ  
上着も着ず、外へ 雪遊びへGO!!



橋の上 新雪をみんなで確認  
走り出すと思いきや、這いつくばって雪あつめ



「みんなでよいしょ！」  
「みんなでよいしょ！」



子どもたち同士、  
気持を合わせ  
力を合わせることで  
できた瞬間

お泊り保育の  
アウトプット  
3日間で  
受けた刺激を  
表現する



集中！  
集中！

### キセキに驚きと感謝

お泊り保育2日目は、山へ行きました。  
根の平峠まで歩き、雪があれば雪遊び、雪  
がなければ愛知川まで歩く予定で出発し  
ました。

この日は、雪がなくて愛知川まで歩き、  
川遊びを楽しみました。ところが、なんと  
3日目に雪遊びができたのです。

「朝明(あさけ)茶屋でこんなに雪が降っ  
たのは今年初めて。」と管理人。

これに巡り合えた子どもたち、すごい。  
雪は朝方から昼にかけて降りました。

「夢やったんかな。」と百里子先生。  
雪のない園に戻って振り返ると、雪景色が

一瞬の夢のような出来事に感じられました。  
「ようちえんにいたら見られなかった  
ねー。」と園児。

この奇跡のような瞬間にはまった子どもたち。  
自然の恵みに感謝するばかりでした。

### 見えないもの

人は自然の摂理の中で生かされていま  
す。あらゆる生きもののつながりの上にし  
か人のくらしは成り立ちません。人だけ  
が、自分の手に余るほどの、勝手をして良  
いはずがありません。

また、この大きな自然に畏敬の念を覚え  
ることは、目に見えないものに気づいたり見  
抜いたりする力を育てます。あらゆるもの  
を慮る大切な心を育てます。

今後、森の風ようちえんは、環境保全に  
繋がる「自然農を基盤としたしぜん保育」  
を推進し、SDGのバックグラウンドを育て  
ます。三重県環境学習情報センターでも、  
全ての子どもたちが、人として、豊かに暮ら  
していくことを願って、更なる取り組みを進  
めて参ります。

写真提供 森の風ようちえん

### ● 森の風ようちえん 講演会 ●

「しぜんな子育ては腹のそこからおもしろい」

開催日:2020年7月4日(土)

しぜん保育の魅力や森の風の実践事例を交えて多くの方々と学びたい  
です。講師の汐見稔幸先生は新幼稚園教育要領や保育指針の改訂・改  
定に関わってこられました。これからの幼児教育・保育の道しるべ的な  
存在です。小西貴士さんはしぜん保育をする傍ら、子ども達と自然の写  
真をとり続けてこられて自然と子ども達の魅力を伝えておられます。  
二人のコラボでの講演会(トーク&スライドショー)は見逃せません。  
自然・しぜん保育・子ども達・子育て・それを取り囲む全ての人達と共に  
子ども達の未来を考えます。

参加者(対象者):  
子ども達に関わる全ての人  
詳細問い合わせ:森の風ようちえん  
TEL/FAX 059-393-4782



汐見 稔幸さん



小西 貴士さん